



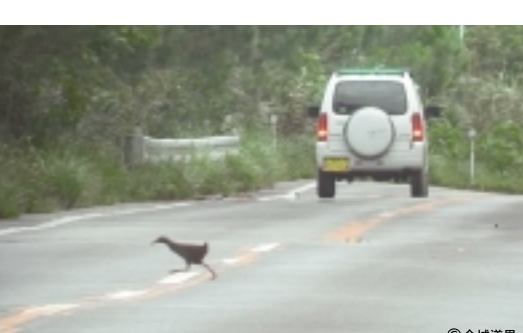
©NPOどうぶつたちの病院

2005年に完成したヤンバルクイナ救命救急センター



©NPOどうぶつたちの病院

人工孵化に成功したヤンバルクイナのひな



©金城道男

「車の速度を落とすこともヤンバルクイナを守る」と長嶺さん

故郷で再認識した空の青さ、自然の豊かさ。ヤンバルクイナと語る長嶺さん。沖縄の元気を守るため、今日も奔走しています。

●NPOどうぶつたちの病院 <http://yanbaruquina.jp/>

ちゅらしまおきなわ

沖縄

沖縄県広報誌 平成19年9月1日発行第31巻9号通巻384号

企画・編集 沖縄県知事公室広報課
発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570
那覇市泉崎1-2-2
電話 (098) 866-2020

制作・印刷
株式会社エマインタープライズ
〒900-0006
那覇市おもろまち1-5-26
電話 (098) 868-9332

編集後記
まだまだ暑さが厳しいですが、皆さんは夏バテなどしていませんか？そういう私は完全にバテ気味です。こういう時こそ元気の出る島野菜のメニューを・・・と思いつつ、家に着くなり気力ダウン。「健全な食生活を実践しよう」、自らに言い聞かせる毎日です。(R)

今年の夏は海へ行くぞ!と意気込んだのですが・・・まだ行けていません。最近、体がなまっているので、ちょっとはやりにも乗り遅れましたが、娘と一緒にビリーの体操でもやろうかな?と思う今日この頃です。(ノア)



制作・販売しているステッカー(右上)とコーヒー(右下)、ヤンバルの子供たちに配布された「いきものノート」(左)

クイナを襲う。罪のないノネコを捕獲して処分することには疑問を感じました」と長嶺さん。生き物すべてを大切に思う気持ちから、捕獲された飼主のいないネコを一匹も処分することなく、すべてに避妊手術と新しい生活の場を提供するという取り組みを実行しました。

さらに環境省、沖縄県、大宜味・国頭・東村、獣医師会との協力で、二年間で約五百頭の飼いネコに避妊手術とマイクロチップの埋め込みを実施し、三村合同で全国初となるネコの飼育登録条例が施行されました。このような活動が功を奏し、その後ノネコの数は十分の一に激減。その活動は、九州・沖縄地区の獣医師で構成されるNPO団体へと広がり、広域での情報交換やノウハウの共有を図っています。どうぶつたちの病院ではマングー

げんき
私たちが
ヤンバルクイナを守るために
行動すべきこと

スの根絶プロジェクトも推進し、ヤンバルクイナの保護に取り組み続けています。



事故に遭ったヤンバルクイナを診察する長嶺さん

やんばるの豊かな自然の象徴ともいえる「ヤンバルクイナ」は、1981年に発見された国指定天然記念物です。沖縄の北部地区にしか生息しない世界でも貴重な鳥が今、絶滅の危機にひんしています。クイナたちを輪禍やノネコ、マングースから守ろうと地道に活動続ける「NPOどうぶつたちの病院」事務局長であり、獣医師の長嶺隆さんにお話を伺いました。

NPOどうぶつたちの病院
事務局長 長嶺 隆 さん

1963年、うるま市具志川出身。日本大学獣医学部卒業後、埼玉県で獣医師として従事。2001年帰郷、ながみねどうぶつクリニック開業と同時にヤンバルクイナの保護に関わる。2005年、NPOどうぶつたちの病院設立。帝京大学非常勤講師、(社)沖縄県獣医師会野生動物保護対策委員長、(社)日本獣医師会野生動物対策検討委員会委員。

げんき
運命を変えた
ヤンバルクイナとの出会い

「昔の具志川はサトウキビ畑や干潟が広がり、サシバやアオバトなどいるんな鳥がいました。ウズラの卵をふ化させたこともあります」。長嶺さんは、鳥に魅せられた少年時代を振り返ります。

一九八一年、浪人生だった長嶺さんは、新種であるヤンバルクイナの発見に衝撃を受け、獣医を目指します。大学と就職で十二年間沖縄を離れ、開業のため帰郷した長嶺さん wait っていたのは、ヤンバルクイナを取り巻く悲惨な環境でした。交通事故死や野生化した捨て猫(ノネコ)に食べられたり、マングースに生息域を追われるなど、発見からわずか二十年

げんき
チャレンジの連続!
ヤンバルクイナを救う
地道な活動

二〇〇二年に獣医師仲間と「ヤンバルクイナたちを守る獣医師の会」を発足させ、まずヤンバルクイナを襲うノネコ対策から手がけました。「飼主の勝手な都合でやんばるに飼い猫が捨てられ、それが野生化してヤンバル

の間に数が半減していました。かつて名護市の北側でも見られたヤンバルクイナは生息地を急速に北へと追いやられていたのです。

「沖縄にしかない鳥がいなくなることは、種の絶滅を意味します。絶滅したら、取り返しのつかないことになってしまふ」。トキやコウノトリの過ちを繰り返すまいと、長嶺さんは行動を起こします。



沖縄の宝

「ヤンバルクイナ」を守れ!

愛する町のために、地域の元気ののために、「一生懸命活動している人がいます。このコーナーではそれを「沖縄のげんき仕掛人」と呼び、ユニークな活動を応援していきます!」



©NPOどうぶつたちの病院

救護され回復したヤンバルクイナの放鳥

